



### 豊寿大学、子どもに戻って笑顔



5月18日、える夢館で豊寿大学が行われました。今回は浦幌お話・ピアノの会の方々を講師に迎え、ピアノ伴奏による朗読、体操や童謡、唱歌の合唱などが行われました。

「子どもの頃に戻って楽しみましょう！」というかけ声に応じるように、皆さん年齢を感じさせない元気な動き、歌声をみせていました。

終わりに池田警察署秋吉交通課長による交通安全講習が行われました。

講習では、夜間の高齢者事故に対する注意喚起がなされ、女性にはブレスレット型夜光ストラップ（チャーム）が、男性には夜行反射材が贈られました。

### 十勝川魚つきの森植樹祭



5月26日、二宮の町有林0.85ヘクタールで、十勝川魚（うお）つきの森推進協議会（会長：茅野優大津漁協組合長）主催による「十勝川魚つきの森植樹祭」が行われ、大津、豊頃の各小学校、大津漁協、豊頃農協、豊頃町商工会、豊頃町建設業協会、帯広開発建設部や十勝総合振興局など15団体約100人が参加し、1,840本のカラマツの苗木を植樹しました。

開会式で、同協議会の加藤敏副会長が「植樹は環境の保護をはじめ、川上と川下をつなぐ大切な作業。後世に緑豊かな豊頃町の継承を」と、また宮口町長は「皆さんが植えた木が成長すると川や海をきれいにし環境を良くします。1本1本真心を込めて植えましょう」とあいさつしました。

### 大津・厚内で沖出し訓練



5月17日、大津漁協（茅野優組合長）は漁船を沖合に避難させる際、要する時間を調査するための沖出し訓練を行いました。

大津、厚内両漁港の26隻が船を出しデータを収集しました。また、陸上でも大津漁港建設利用推進期成会（前川啓一会長）なども協力し、約100人が参加しました。

大津漁港では午前10時5分のサイレンとともに22隻の漁船が一斉にエンジンをかけ、沖合に向かいました。目標の水深20m地点までは平均15分で、漁港にいた人が築山の上に避難する時間は約10分でした。

同漁協幹部は「船を救うか、避難するか、難しい判断を迫られる」と話していました。

### 観光シーズンを前に海岸を環境整備



5月24日、本格的な観光シーズンを前に、大津漁港・長節湖・湧洞湖周辺の海岸沿いで、ごみ拾いの環境整備を実施しました。

この日は、豊頃町観光協会（大谷友則会長）と十勝川魚つきの森推進協議会（茅野優会長）を組織する町内の農協、漁協、商工会、建設業協会と大津漁港建設利用促進期成会などの団体や帯広開発建設部、帯広建設管理部など関係機関からおおよそ140人が参加して、空き缶や空き瓶、ペットボトルなどのごみを約1時間にわたり拾いました。

集められたごみは合計約1.1トンド、昨年とほぼ同じでペットボトルや空き缶が多い状況でした。

### 大津小児童がサケ稚魚放流



4月27日、大津小学校の児童が校内で飼育したサケの稚魚約500匹を同校近くの十勝川支流に放流しました。この稚魚は、12月に十勝釧路管内さけます増殖事業協会から受精間もない卵を譲り受け、児童が観察しながら大切に育ててきました。

児童代表の長濱さんが「大きくなって帰ってくるよう、上手に泳げるように放してあげましょう」とあいさつし、織茂校長は「12月から5～6cmまで育ててきた。4年後、1匹でも多く戻ってきて欲しい」と話しました。

5センチほどに成長した稚魚をバケツで運び、コップで稚魚を数匹ずつすくい上げ、川に放流、稚魚が泳ぎだすと児童からは歓声が上がりました。

### 直売所がオープン



4月28日、国道38号茂岩入口の「とよこ物産直売所」がオープンしました。

立野会長は「立派な建物のできたので、それに負けないよう販売を頑張りたい」とあいさつし、石田貢副町長、大谷友則町商工会会長とともにテープカットしました。

当日は好天に恵まれ、オープン直後から沢山の買い物客が詰めかけ、新鮮な野菜や水産物、手作り雑貨などを求めて長蛇の列を作っていました。

また、1,000円以上の買い物をした人を対象に抽選会も行われ、特産品を引き当てて喜ぶ姿も見られるなど、大きな賑わいを見せていました。

### 大津小、豊頃小で交通安全教室を実施



今年度の交通安全教室が4月19日に大津小学校で、4月27日に豊頃小学校でそれぞれ行われました。

大津小学校では、体育館に模擬信号機を設置し、交差点における自転車や徒歩による横断方法を学びました。

豊頃小学校では、高学年、中学年、低学年で時間ごとに分かれて指導を受け、学校周辺の公道で、横断歩道の渡り方や自転車の乗り方などを実践して学びました。

児童たちは、交通事故に遭わぬように先生や交通指導員、警察官の指導に従い、元気に、真剣に取り組み、大変有意義なものになりました。

### 全道空手、豊中が1,2フィニッシュ!



4月30日、千歳市開基記念総合武道館で第3回北海道新聞杯全道空手道選手権大会が行われ、個人組手中学生の部で豊中中の工藤君が優勝、川村君が準優勝の快挙を成し遂げました。

今大会は昨年度の成績による招待試合という形で行われ、中学生男子の部には16人が出場しました。

川村君が準決勝の試合中に突き指をするというハプニングもありましたが、見事両名そろって決勝へ進出し、同門対決となりました。

同校には空手部はありませんが、浦幌誠武館で幼い頃からお互いを高め合ってきました。

優勝した工藤君は、「次の大会も優勝したい」と連覇への意欲を見せていました。

広報とよころ

社協だより

役場だより

広報とよころ

社協だより

役場だより

